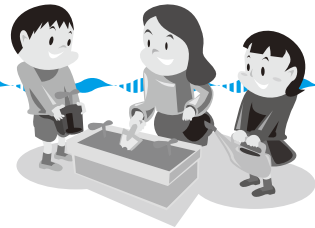


サポプラ通信

[vol.88]

サポプラROOM



第3回 へきなん歴史探訪ツアー ～大浜歴史ロマン 藤棚につつまれて～を終えて



△宝珠寺 菊女の墓



△山稲荷 勧請弁財天



△大浜熊野大神社 菊女の碑

4月23日(月)、へきなんの歴史を探索するバスツアーが開催されました。案内は大浜てらまち案内人の会の平野敏子さん。この日は天候に恵まれ、少し汗ばむほどの陽気でした。吹く風は肌に心地よく、弁舌爽やかな案内人に導かれ、哀愁のある歴史ロマンに触れることが出来た時間でした。

今年のテーマは「一途な夫への愛が奇跡をおこした伝説の貞女加藤菊女」。宝珠寺・山稲荷・大浜熊野大神社、深称寺を巡りました。最後は貞照院でした。藤の花の見ごろが終わっていたことは、ちょっと残念。サプライズで碧南の議場も見学。心が弾みました。

参加者から「碧南は実はスゴイところだったんだ」との感想。碧南のこの地を巡ることができ感謝です。



△深称寺 菊女念持仏



△貞照院 藤棚の下で



△碧南市役所議場にて

団体DATA

手話サークル
ありんこ

代表者名	石川 正敏
活動拠点	あいくる
活動日時	毎週金曜日・日曜日 19時30分～21時
会員数	15名
会費	年間1,000円(内100円保険代)
問合せ先	碧南市市民活動センター 「サポプラ」



手話サークルありんこ

碧南市で唯一、夜活動している手話サークルありんこです。来られる時、来られる時間に参加できる自由なサークルです。みんなで楽しくコミュニケーションを取りながら手話を覚えていくのを目的にしています。いちご狩り・バーベキュー・食交会・クリスマス会といういろいろなイベントを楽しんでいます。もちろん、家族、友人、誰でも参加OKです。

他に活動として、耳の日、ふれあいフェスティバルなどにも参加しています。

手話ってどんなだろう？ ろう者の人と話したいと少しでも興味がある方、一度見学に来てください。



今月の「がお」

★告知版★

●スキルアップ講座「まちづくり担い手講座」 ファシリテーター＆コーディネーター養成実践コース～受講者募集～

- 講師 平野 木恵 氏
会場 へきなん福祉センターあいくる会議室
- 日時と主なテーマ
- 第1回 6月24日(日) 12:30～16:30
人間関係力をアップして、地域力向上へつなげよう
 - 第2回 7月21日(土) 12:30～16:30
まちづくりコーディネーターとは？企画の立て方・すすめ方
 - 第3回 8月18日(土) 12:30～16:30
参加型ファシリテーターの役割と役立つスキル
 - 第4回 9月15日(土) 12:30～16:30
気づきを行動へつなぐ参加型プログラムの作り方
 - 第5回 10月13日(土) 12:30～16:30
人とまちを活かすファシリテーター＆コーディネーター

●車座集会「地域の見守り体制づくり」

- 講師 藤野 千秋 氏
日時 6月23日(土) 13:30～15:00
会場 へきなん福祉センターあいくる会議室

●スキルアップ講座「チラシ作り、はじめの一步」 プロが気をつけるポイント、教えます。

- 講師 竹田 隆憲 氏
日時 8月19日(日) 13:30～15:30
会場 へきなん福祉センターあいくる会議室

碧南市市民活動センター【サポプラ】

指定管理者：認定特定非営利活動法人愛知ネット
住所 碧南市山神町8丁目35番
へきなん福祉センターあいくる内
電話 0566-42-6561
FAX 0566-42-6571
E-mail info@hekinan-plaza.jp
開館日 火曜日～日曜日
休館日 月曜日(祝祭日の場合はその翌日)
開館時間 9:00～21:00 (日・祝は9:00～17:00)



なんば提灯ともす会

5月3日(木)午後7時過ぎに、二本木町にある広藤園で「なんば提灯ライトアップ」というイベントがありました。灯を入れたなんば提灯の淡いひかりの中、ゆったりとした時間が流れていました。「なんば提灯」ってどんなもの？なんば提灯ともす会の方にお話を伺いました。

「なんば」とは唐辛子のこと。形が似ているところから付いた呼び名と言われています。竹を縦割りにし、腰板を入れ、赤い紙を貼っただけの素朴な提灯です。50～60年前、太平洋戦争の後、この地方の男の子たちは、自分で竹を切り、割って提灯を作って遊びました。自分で作れない幼い子は、年上のお兄ちゃんが代わりに作ってくれました。その始まりは、定かではありません。遊びだけでなく、盆踊りのやぐらにたくさんつけてその明かりで踊ったこともあるそうです。

時代は変わり、生活が豊かになるにつれ、提灯で遊ぶ習慣は失われてしまいました。会の皆さんは、この地方独特の「なんば提灯」を自分達で作り、伝統の提灯を絶やさない活動をされています。



しゅざい日記